

電波を受信せよ！

真空管 FM チューナー

特別付録：ラックスマン製 真空管 FM チューナー・キット



ONTOMO MOOK

stereo 編

電波を受信せよ！真空管 FM チューナー

特別付録：ラックスマン製

真空管 FM チューナー・キット

9月19日（木）発売

定価：15,000円（本体）＋税

本誌 A4 オールカラー 16頁

企画意図

今、radikoなどで、ネット上やアプリでラジオを聴く人が多いが、オーディオ製品として販売されているFMチューナーデッキは2機種のみと大変少ない。本格的なオーディオシステムで「いい音」でFMを聴くことが、困難な状況となっている。70～80年代エアチェック全盛時代は、高級なチューナーとカセットデッキで、「いい音」でラジオを聴くというのが、とても人気があった。今、改めて、アンテナを設置して、FM放送をリアルタイムで「いい音」で聴くという、アナログ的な行為の面白さを訴求したい。エアチェック世代の回帰だけでなく、ちゃんとしたステレオ装置でFM放送を聴いたことがない世代にも体験してもらい、FMラジオを楽しんでもらうのが狙いだ。radikoなどのデジタル音源では、いわゆる「デジタル臭い」音に対して、本付録は真空管を通すことによってウォームな再生が可能となっている。また真空管を交換して音の違いを楽しむことも可能だ。真空管によって、放送時の音楽や声がより豊かに再生される。

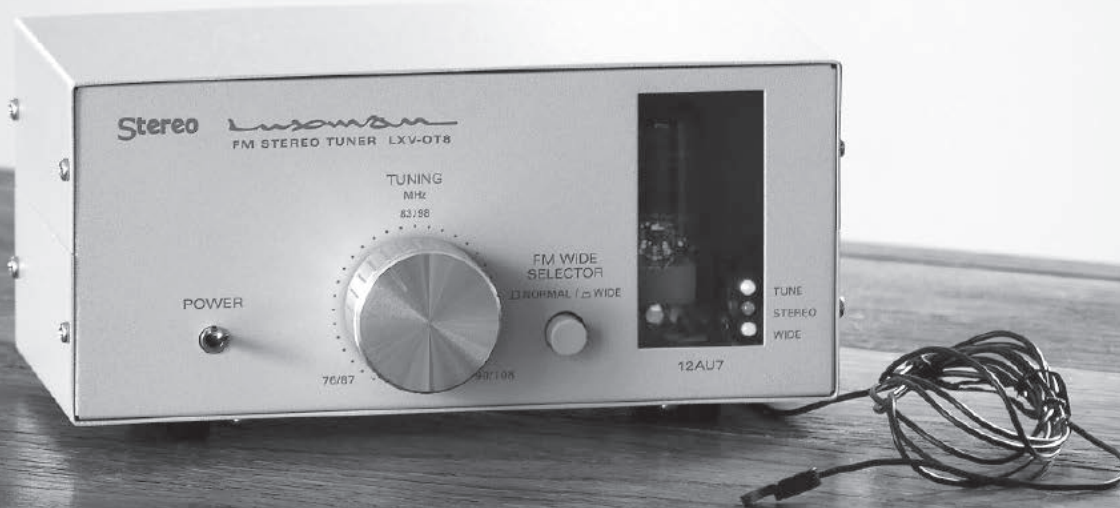
本誌内容

- ・FMチューナーキットを作ろう
- ・真空管を交換して音の違いを楽しむ
- ・アンテナを強化する
- ・シャーシをデコレーション
- ・コンデンサを変えて好みの方向へチューニング
- ・FM放送の歴史
- ・FMチューナーの名器
- ・チューナーと組み合わせるアンプを考える

注文書

ONTOMO MOOK stereo 編 電波を受信せよ！ 真空管 FM チューナー	店名	注文数
特別付録：ラックスマン製 真空管 FM チューナー・キット 定価：15,000円（本体）＋税		冊

ラックスマン真空管シリーズ第3弾 真空管FMチューナー LXV-OT8



真空管 FM チューナー LXV-OT8

spec

●出力電圧(100%変調、1kHz)0.9V ●FM受信周波数範囲:《ノーマル》76.0~90.0MHz《ワイド》87.0~108.0MHz ●50dB S/N 感度:8 μ V ●周波数特性:30~15kHz(-3.5dB) ●電源電圧:DC12V ●消費電力:3W ●寸法:180W×86H×118Dmm(脚部、突起物含む) ●質量:620g

【付属品】

ACアダプター(出力DC12V 1A)、アンテナ線(ミニプラグ付き)、真空管(12AU7)

【付属回路】

チューニング・インジケータ、ステレオ・インジケータ、FMノーマル/ワイド切替スイッチ、ワイド・インジケータ

ONTOMO MOOK

stereo 編

電波を受信せよ! 真空管FMチューナー

特別付録:ラックスマン製真空管FMチューナーキット

9/19(木) 発売

※ワイドFMは、従来のFM帯に90.0~94.9MHzを加えて、76.1~94.9MHzでAM放送番組をFM放送するものです。

定価:15000円(本体)+税



LXV-OT8リア

RCA出力、FMアンテナ入力(ミニジャック)、DCジャック



LXV-OT8基板

シンプルな構成。今回も真空管(12AU7)を交換して、音色の違いを楽しむ



チューニング用のツマミは操作しやすいよう大きく配置した



真空管FMチューナーキット。キット内容は、これまで同様、シャーシと完成基板の構成。プラスドライバーとラジオペンチで誰でも簡単に組み立てられる。ACアダプターとアンテナ線が付属



インジケータが反応するのがアナログ感覚満載で楽しい。声は真空管らしい温かみを感じられる。あなたのオーディオシステムに加えてみてはいかがだろうか



インジケータ

チューニングが合うとオレンジ色のLEDが点灯、さらにステレオで入ると中段も点灯する。最下段はワイドモード時に点灯



受信周波数をスイッチで切り替えられる



受信周波数範囲

ノーマル:76.0~90.0MHz
ワイド:87.0~108.0MHz